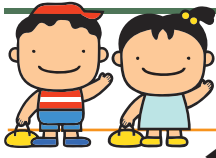


学校訪問



九中柔道部2年生。礼儀を正しく



打ち込み「背負い投げ」の練習



基本のトレーニングを大切にしています。「払い腰」の練習

部活動

第九中学校

東尾久2-23-5

生徒が部活動を紹介します
柔道部

私たち柔道部は、三年生二人、二年生三人、一年生一人の合計六人で活動しています。人数はあまり多くありませんが、先輩後輩の仲を超えて、楽しく活動しています。九中での柔道は昨年からは部として活動しています。活動日は月曜日、火曜日、木曜日、金曜日、土曜日の五日間です。活動内容は、準備体操を入念に行い、回転運動や寝技の確認をして身体を温めてから立ち技に移ります。立ち技では、打ち込みで技の確認を行います。乱取りをします。顧問の先生が見ていないときは立ち技の乱取りは行いません。練習の最後には筋力トレーニングがあります。きついですが、頑張っています。また、6月には中体連、10月には新人大会があり、5月25日、私たちの第五峡田小学校では、運動会が開催されました。本番直前。六年生として、最後の運動会にかけ、私たちの思いを紹介したいと思います。

① 私は、運動会に向けて、元氣よくあいさつをしたり、給食を残さず食べたり、練習ではみんなを声かけ合ったりしながらがんばって来ました。運動会の練習を通して、がんばろうとする心がひとつになっていき、みんなが団結したと思います。本番が楽しみです。

② 今年の組体操には自信があります。僕はみんなの上に乗りますが、支えてくれる友達を信じています。みんな、自分のめあてをもち、達成するためにひとつひとつの技に全力で取り組んでいます。本番の四段タワーや立体ピラミッドでは、誰が見ても感動するような演技をしたいです。

他にも、五峡小の伝統である「鼓笛ドリル」や迫力いっぱい「応援団」が、運動会を盛り上げます。

また、運動会だけではなく、五峡小には、私たちが活躍できる時がいっぱいあります。六年生として、これからも五峡小を引っ張っていきたいと思います。

執筆 六年 小井出美希
渡辺堅信

学校自慢

「組体操」動きと気持ちを合わせます



「応援合戦」みんなの先頭に立つ応援団

「鼓笛ドリル」今年度の主指揮は野口優希姫さん

5月25日、私たちの第五峡田小学校では、運動会が開催されました。本番直前。六年生として、最後の運動会にかけ、私たちの思いを紹介したいと思います。

① 私は、運動会に向けて、元氣よくあいさつをしたり、給食を残さず食べたり、練習ではみんなを声かけ合ったりしながらがんばって来ました。運動会の練習を通して、がんばろうとする心がひとつになっていき、みんなが団結したと思います。本番が楽しみです。

② 今年の組体操には自信があります。僕はみんなの上に乗りますが、支えてくれる友達を信じています。みんな、自分のめあてをもち、達成するためにひとつひとつの技に全力で取り組んでいます。本番の四段タワーや立体ピラミッドでは、誰が見ても感動するような演技をしたいです。

他にも、五峡小の伝統である「鼓笛ドリル」や迫力いっぱい「応援団」が、運動会を盛り上げます。

また、運動会だけではなく、五峡小には、私たちが活躍できる時がいっぱいあります。六年生として、これからも五峡小を引っ張っていきたいと思います。

執筆 六年 小井出美希
渡辺堅信

第6回あらかわバラの市を開催しました

5月17日、町屋駅周辺で「第6回あらかわバラの市」を開催しました。



色とりどりのバラが勢揃い!



あいさつをする西川区長

都電沿線に咲く、約1万3000株のバラが見頃を迎える中、会場ではバラが販売され、訪れた人達はお気に入りの鉢を選んでいました。区内の商店街も参加している「あらかわバラの市」は、地域ぐるみのイベントとして年々盛り上がっています。

オオムラサキとカブトムシを見に行こう!

オオムラサキ観察園

「NPO法人オオムラサキを荒川の上空に飛ばす会」が育てている、国蝶のオオムラサキを見ることができます。

開園日時 6月14日(土)~7月27日(日)の土・日・祝日、午前10時~午後4時(正午~午後1時を除く)



▲オオムラサキ

昆虫観察園

放し飼いのカブトムシを観察できます。

開園日時 6月21日(土)~8月10日(日)、午前10時~午後4時(正午~午後1時を除く)

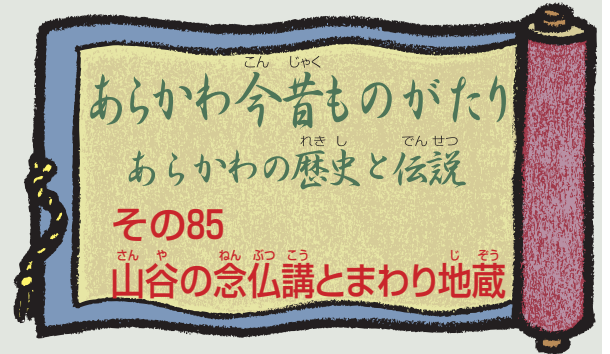


▲カブトムシ

休園日 第1・第3木曜日
入園料 無料
問合せ 荒川自然公園 ☎(3803) 4042



山谷の念仏講



荒川区の山谷って、どこだと思っ? 何々、山谷は台東区にもある。西尾久1丁目と北区との境の地名だ。その由来はよく分からないけれど、江戸時代の本「新編武蔵風土記稿」にも載っている古い地名なんだよ。小台通り沿いには、尾久の八幡神社にある江戸時代の地図にも描かれている。

山谷の念仏講

山谷の念仏講は、山谷の念仏講の大きな数珠は、他でも活躍したんだよ。どこで活躍したかって? それはね、あるお客様と関係しているんだ。

尾久を巡るお地蔵さん

昭和の初め頃まで、毎年、12月になると、今の新宿区から尾久にやってくるお客様がいらした。お客様とは、市ヶ谷柳町の宗円寺のお地蔵さんだ。訪問先は、大きな農家ばかり。最初の訪問先は、数珠の持ち主の山谷の鈴木さん、その後、田島(東尾久8丁目付近)の三橋さんと鈴木さんの家へ巡り、台東区池之端の方に向かったそう。色々な場所を訪れるから「まわり地蔵」と呼ばれた。

お地蔵さんは、大八車という木製の荷車に乗って出てくる。1日の、朝新宿を出て、午後2時から3時頃に山谷の鈴木さん家に着いたというから、あちこち挨拶をしながら練り歩いて来たんだね。到着すると、お地蔵さんには、おもてなしのために、お座敷の床の間に座って頂いて、お花やご馳走等をお供えしたんだって。その後、近所の人々がたくさん集まって、あの数珠を座敷に広げ、お念仏をやお菓子も配られたので、みんな

楽しみをしていたんだって。お地蔵さんは、翌日は、田島の三橋さん、翌日は鈴木さんの家を山谷の数珠と一緒に訪れ、それぞれの家でお念仏が行われた。お地蔵さんが尾久から帰る時に、お数珠は山谷の鈴木さんに戻すことになった。この行事はもう行われていないけれど、みんなの町にも昔からの行事があるかもしれないよ。近所のおじいさんやおばあさんに聞いて調べてみよう。

問合せ 荒川ふるさと文化館
☎(3807)9234



▲山谷の念仏講の数珠と鉦(荒川ふるさと文化館寄託資料)